

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2011-12 Winter



We Serve!



2011年11月2日ヘリコプターより撮影

330-A

10月16日(日) ライオンズ奉仕デー
薬物乱用防止大会を開催
(日比谷公会堂)





2011年10月16日(日)13時～16時 日比谷公会堂に於いて330-A地区キャビネット主催の「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止大会」ライオンズ奉仕デーが開催された。天候にも恵まれ、都内各地域から日ごろ地域のライオンズクラブが応援する少年野球やサッカーチームなどの少年少女とその保護者ら約2千名が参加し、日比谷公会堂は超満員となった。警視庁並びに国連麻薬・犯罪事務局などから薬物の危険性やその歴史などについて説明があり、子ども達も「友人に教えたい」など熱心に聞いていた。また、江戸川東LCメンバーらの「寸劇」では、楽しく解説された薬物への誘いとその断り方が子供たちに披露された。さらに、後半は、ミニコンサート「松原美香withブリモと江東区立明治小学校マーチングバンド」の一生懸命、そして軽快な演奏で会場は感動に包まれた。この大会の様子は当日の18時45分から放送された「NHK首都圏ニュース」で65秒間紹介された。



当日の夕方6時45分からのNHK首都圏ニュースで報道されました。



モンゴルの新クラブをスポンサー

国際関係モンゴル支援委員会が後押し

国際関係・モンゴル支援委員会、東京ワンハンドレッドLC



国際関係モンゴル支援委員会のコーディネートにより、モンゴルのウランバートルに新クラブ“ハンガイライオンズクラブ”が設立された。チャーターメンバーは20名、モンゴル国内では6番目のクラブとなり、モンゴル国内のメンバーは100余名となった。9月10日新クラブの認証状伝達式並びにチャーターナイトに出席するため、国際協会モンゴルコーディネーター・中野了(渋谷)、前エクステンション委員会委員長・長井隆充(ワンハンドレッド)、スポンサークラブ会長・土屋定彦(ワンハンドレッド)、330複合地区モンゴル委員会副委員長・吉村誠(新橋)、国際関係モンゴル支援委員会委員長・田倉仁(八王子高尾)ほかの地区メンバーら24名が成田を出発し、15日帰国した。



地区LCIFセミナーに約130名が参加

今年度も国際本部の田辺氏が講演

9月26日、地区LCIF委員会が主催する「ライオンズクラブ国際協会330-A地区LCIFセミナー」が明治記念館で行われた。セミナーには大石ガバナーや山浦国際理事、石井LCIFコーディネーターら地区の主だった役員らのほか、330-C地区からも5名のメンバーが参加した。国際本部から来日したLCIF開発課長(OSEAL担当)田辺憲雄氏の「LCIFの献金と交付金について」の講演の後、地区内クラブのメンバーの事例発表があった。中でも1,000\$献金を58回行っている北村昭子L(東京新都心)や昨年2回目の100%MJFクラブを達成した東京代々木LCや東日本大震災支援のため100%MJFクラブを達成した東京豊島LC、東京豊新LCが紹介された。



大石ガバナー地区内各地を公式訪問

ガバナーおよびキャビネット幹事らは地区内各リジョンを下記の日程で公式訪問した。

- 9月 6日(火) 10リジョン(目黒雅叙園)
- 7日(水) 3リジョン(ホテルオークラ)
- 8日(木) 1リジョン(東京會館)
- 9日(金) 2リジョン(ロイヤルパークホテル)
- 12日(月) 5リジョン(東武ホテル)
- 13日(火) 11リジョン(ハイアットリージェンシー東京)
- 14日(水) 13リジョン(クレストホテル立川)
- 20日(火) 12リジョン1ゾーン(吉祥寺第一ホテル)
- 21日(水) 7リジョン(浅草ビューホテル)
- 22日(木) 8リジョン(ハイアットリージェンシー東京)
- 26日(月) 9リジョン(グランドプリンスホテル高輪)
- 27日(火) 14リジョン(八王子京王プラザホテル)
- 28日(水) 4リジョン(ホテルイースト21東京)
- 29日(木) 6リジョン(浅草ビューホテル)
- 30日(金) 12リジョン(ホテルエルシ 町田)



東京八王子いちょうクラブが25周年

東京八王子いちょうLC

2011年10月18日に八王子エルシにおいて東京八王子いちょうライオンズクラブの結成25周年の記念行事が行われた。式典では「社団法人みやぎびっきの会」(東日本大震災災害遺児支援)、「尚武会」(東日本大震災被災地復興支援)、八王子市内福祉施設「NPO法人ここまど」、ベトナム・ヤンタンA小学校が招かれ金一封が渡されたほか、在籍25年のメンバー4名(楊山L、岡村L、尾山L、澤田L)にもガバナーよりアワードが贈呈された。



手作りクッキーを被災地へ!クリスマスプレゼント

家族会員・女性参加推進委員会

来る12月19日に、ABCクッキングスタジオでクッキー作りを行います。

出来上がったクッキーはきれいに包装され、お見舞いカードと共に被災地の子供達にクリスマスプレゼントとして贈られます。

この温かい企画をしているのは、家族会員・女性参加委員会の皆さんです。このクッキー作り、家族会員や女性会員が気軽に参加していただきたいと募集しております。

当日は、1,200名分のクッキーを焼く予定です。そして翌20日にはクリスマスプレゼントとして被災地にサンタクロースとともに届けます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参加費2,500円

お問い合わせお申込みはFAX 03-5330-3370まで



東京調布ライオンズクラブ薬物乱用防止教室を継続

今期10回の薬物乱用防止教室開催を目指す(すでに3回実施)

10月14日

東京調布LC



東京調布ライオンズクラブでは、地元小学校での薬物乱用防止教室第1回目(9月6日国領小学校6年生約60名)に続き、10月1日(土)調布市立上ノ原小学校に於いて、今期2回目の薬物乱用防止教室を実施した。6年生3クラスが対象で、この小学校では初めての薬物乱用教室。父兄も同時に勉強する教室となった。さらに続けて第3回目は10月14日(金)調布市立飛田小学校にて約60名の生徒に対して実施された。「いずれの教室もしっかりとした子供たちの反応があり、今期は10回の開催を目指している」と同クラブのアクティビティ委員長矢田部満がコメントしている。



障害者らと運動会を楽しむ

10月2日

皇宮警察音楽隊や学習院大学吹奏楽団も応援

東京番町LC

東京番町ライオンズクラブは10月2日(日)世田谷区総合運動場体育館で、継続して応援している社会福祉法人柏朋会「友愛十字会」らが主催する合同運動会に「障害のある人もお年寄りも、一緒に秋の日を楽しく過ごそう」ということで、クラブメンバーや東京PHILレオクラブ、事務局員ら16名が参加した。メンバーらは綱引きなどの競技に参加しながら、皇宮警察音楽隊や学習院大学吹奏楽団の演奏を楽しみ、学習院大学応援団チアリーダーの若さあふれる応援に感心していた。



町田市の第38回障がい者スポーツ大会に協賛 11月3日

ライオンズ神輿が大人気

東京町田LC



11月3日(祝:文化の日)町田市総合体育館で「第38回障がい者スポーツ大会」が開催され、地元の東京町田ライオンズクラブが協賛した。町田LCは29年間も続けて、町田市主催の協力団体として参加している。大玉運び、

地球ころがし、スプーンリレーなどの競技の後のアトラクションでは、町田LCがスポンサーする「ライオンズお神輿」が大人気で、クラブメンバーらが先導した。障がい者の方にも、元氣よく「お神輿」を担いでもらおうという趣向だ。会場では祭り囃子にあわせて、「ワッショイワッショイ」の掛け声も賑やかに会場内をねり歩いた。子供らは「たいへんだったけれども、とってもおもしろかった」と息をはずませ、笑顔を振りまいた。休憩ブースでは茶屋を開いて無料でフルーツやお茶を振舞い喜ばれていた。この日は町田市の各施設の障がい者とボランティア等約700名が参加する一大イベントとなった。



表参道で宮城県石巻と女川町支援活動

9月24日・25日

女川出身の中村雅俊氏や同氏の友人石田純一氏も応援に駆けつける。

3R2Z合同



3R2Zでは、過去3回にわたり茨城県と福島県の野菜無料配布(毎回1200人に配布)を実施して、東日本大震災の支援活動を行ってきたが、9月24日(土)、25日(日)の二日間にわたり表参道の「秋葉神社」前にて「笹かまぼこ」や「石巻焼きそば」などをそれぞれ1500セット

および1000食を販売した。会場には女川出身で俳優の中村雅俊氏や同氏の友人石田純一氏が応援に駆けつけた。



第6回子供囲碁大会を主催

11月6日

青少年健全育成活動として地元の人々も評価

東京みやこLC



11月6日(日)東京みやこライオンズクラブでは、第6回子供囲碁教室を開催した。会場となった杉並区の西荻南集会所には、同クラブが毎週土曜日に開催している子供囲碁教室の生徒や近隣の小学生、幼稚園生など約42名が保護者に付き添われて競技に参加した。

競技は有段者クラス、19路盤Aクラス、19路盤Bクラス、そして13路盤のクラスに分かれ競われた。各クラス上3名が表彰を受け、優勝者にはトロフィが同クラブ会長より贈られた。競技は年2回行われ、子供たちの練習の励みになっているほか、挨拶や後片付け、ルール厳守など「集団生活の基本が身につく」として保護者らにも好評を受けている。



みなと区民祭りに出展

10月8日・9日

会津坂下町の野菜を直売

東京新橋LC

新橋ライオンズクラブでは10月8日(土)、9日(日)に行われた「みなと区民まつり」に出展し、被災地福島県の支援として「会津坂下町」から直送された野菜を販売した。野菜類が高騰している折、低価格での提供で購入者にも喜ばれた。売上金は被災地の支援に充てられるとのこと。



南三陸の友好クラブへ小型船舶を運ぶ 9月21日

先に乗用車などを寄贈した南三陸志津川クラブを再び訪問 東京赤坂LC



先に乗用車などを寄贈した南三陸志津川LCから「ノリやカキの養殖に使う小型船があれば助かる」との要請を受けた阿久津第一副地区ガバナーは所属する赤坂LCで50周年の記念事業の一つとして和船を寄贈する事業を実施する運びとなり、運よく「中古船を譲っても良い」という寄贈者を見つけ、9月21日阿久津LCは地区PR情報委員会委員長の梶原Lおよび小型中古船の寄贈者らとともに再び、南三陸志津川LCを訪れ、小型船を引き渡した。中古船の寄贈者はこれらの事業に心を打たれ、赤坂ライオンズクラブの入会を検討している。



大船渡市に自転車を整備 10月21日

放置自転車を整備して寄贈

東京調布LC



東京調布ライオンズクラブでは街に放置された自転車を整備し、大船渡市に寄贈した。すでに3回にわたり約80台が大船渡市に寄贈されたが、10月21日大船渡市役所にてクラブ会長、幹事らが出席して贈呈式が行われた。大船渡市の市長のほか大船渡LCの会長らも出席した。



福島県南相馬郡に石油ストーブを寄贈 10月13日

現地の要請で冬に備えて石油ストーブを運ぶ 東京新都心LC

東京新都心ライオンズクラブでは会長らが5月に訪れた福島県の南相馬郡新地町の新地LCからの要望に応え、10月13日(木)インターネットなどで買い求めた石油ストーブ33台を届けた。576戸ある仮設住宅全部には行き届かないが順に被災者に配布される。新地町の仮設住宅では石油ストーブの使用が可能であるとのことで、新地町の町長ら新地LCの主だったメンバーが町役場で出迎えた。



チャリティゴルフ大会を実施 10月12日

東日本大震災被災者支援が目的

東京久留米LC

10月12日(水)東京東久留米ライオンズクラブは13R2Zの東京小平、東京西東京、東京田無、東村山中央クラブの協力を得て、西武園ゴルフ場にてチャリティゴルフ大会を実施した。参加者は145名、集まった収益金25万円は引き続き実施する予定の「七福神めぐり街頭募金」「チャリティー歌謡大会」の収益金とともに東京都共同募金会を通じて被災地へ贈られる。



38万柱の英霊への感謝の気持ち

今年で39年間続く千鳥ヶ淵戦没者墓苑清掃奉仕 東京葵LC



東京葵ライオンズクラブは、毎年、千代田区にある「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」を掃除する活動をしており、今年で39年間続いている。

この墓苑には38万柱からの遺骨が安置されているが「戦争が終わってから66年が過ぎた今でも、その英霊たちへの思いは変わらない」との思いから「この清掃奉仕を通して今日の日本の平和をもたらした英霊に感謝の気持ちを伝える」という東京葵LC、メンバーらは「そして、ライオンズという組織があるから、このような清掃奉仕にも参加できる機会を与えていただいているのだと思う。」…とあくまでも謙虚に感謝の気持ちを忘れない。



東京都立葛飾特別支援学校を応援 9月23日

特別支援学校の体育祭を応援 東京葛飾LC

東京葛飾ライオンズクラブは、9月23日(金)東京都葛飾区金町にある東京都立葛飾特別支援学校の第30回体育祭を応援した。同クラブが継続して応援している活動で、今年も声援を送った。同校は東京都が「一人一人の教育的ニーズに応じた学習に努めている学校」として、「自立し、社会に参加する力」の育成に努めているもので、東京葛飾ライオンズクラブは学校の方針に賛同し、体育祭などの応援をしている。メンバーらは「懸命に競技に参加する生徒らに感動を覚える」と今後も応援を続けるとのこと。



被災地岩手県を支援

神楽坂通りで募金の呼びかけなどを実施 東京神楽坂LC

東京神楽坂ライオンズクラブは神楽坂通りにて被災地岩手県葛巻町の物産などを販売し、併せて復興支援や薬物乱用防止を訴えたティッシュを配布して募金活動も実施した。



9月、10月に1名ずつ会員増強 9月6日

9月6日の入会式には準会員4名が参加 東京隅田川LC

東京隅田川ライオンズクラブは、9月6日(火)浅草ビューホテルで行われた例会で、新入会員L藤本英介の入会式を行った。例会ではこの日、新たに準会員として承認を得たL岡野忠生、L桜田わか、L屋代誠一、L後藤裕文ら4名も出席して入会式を行った。東京隅田川ライオンズクラブは、10月にも新入会員眞田浩氏が入会してメンバー数は8名となった。(2011年11月11日現在)

クラブメンバー

瀧澤 賢司	長谷川敏一
吉田 秀美	安井外喜男
田下 一雄	藤本 英介
樋田 成和	眞田 浩



宮城県の被災地、名取市を訪問

坂東玉三郎さん 宮城県に義援金を贈呈

9月27日

東京巣鴨LC



▲県庁を訪問。村井県知事に玉三郎さんが義援金を贈呈

9月27日、歌舞伎俳優の坂東玉三郎さんと東京の巣鴨ライオンズクラブのメンバーを中心とする一行が大震災の被災地、宮城県を訪問。被災者を激励、村井嘉浩宮城県知事に直接義援金を贈呈した。

これは、玉三郎さんがかねてより「被災地の人たちを激励に行きたい」と願っていたところ、仲のよい友人である東丘いずみさんがこれを聞いて段取りをつけ実現したもの。東丘さんはシャンソン歌手であり、現在、巣鴨ライオンズクラブの幹事を務めているところからライオンズクラブで計画・調整した。

訪問の当日は、震災を忘れさせるような青空。仙台駅に着いた玉三郎さん、330MDグローバルアシスト委員会の桜井、梶原の正副委員長、巣鴨ライオンズクラブの東丘幹事、中村L、名取Lの一行を地元宮城県の職員やライオンズクラブ332-C中嶋慶次ガバナーをはじめ役員らが出迎え、被災地名取市ゆり上の日和山に向かった。ここで献花をして黙礼。「ここから海まで津波で何もかも流された」と県職員が説明した。

ついで仮設住宅・美田園第1団地の集会所を訪問。玉三郎さんが大勢の被災者に激励の挨拶、色紙や記念品をプレゼント。みんな「勇気づけられた」と大喜びのひとつときとなった。

最後に宮城県庁を訪問。村井嘉浩県知事に義援金を贈呈。「有効に使わせていただきます」と笑顔。

短時間ではあったが、玉三郎さん、東丘さん、東京と宮城のライオンズが、被災地と強い絆で結ばれた訪問となった。



▲被災者を激励。サインをする玉三郎さん



▲被災者のみなさんと。東京・宮城のライオンズメンバーで記念撮影。中央前列が玉三郎さんと東丘さん



▲仮設の集会所で激励の挨拶をする玉三郎さん



▲日和山で献花をして黙礼

突撃レポート

PR情報委員会では最近の様子が知りたい地区内のクラブを独断で突然訪問してのインタビューレポートを企画しました。今号はこのたび50周年記念例会を実施した東京大森、池袋両ライオンズクラブとクラブの名称を変えて再出発した東京さぎそうライオンズクラブ。

東京大森ライオンズクラブが創立50周年記念式典

大田区民ホール・アプリコ大ホールに約1,200名が参加

11月5日(土)大田区民ホールに於いて、東京大森ライオンズクラブの創立50周年記念式典が開催された。オープニングとして、ライオンズクラブ国際協会の歴史や同クラブの地域へ対するアクティビティを紹介した「知ってくださいライオンズクラブ活動」と題された映像が上映された。次に大田区清水教育長が祝辞を述べた後、奈須野会長より、支援する地元の高校生に対し奨学金目録の贈呈と東京美原高等学校の生徒からの謝辞が述べられた。その後、山浦国際理事より、吉田謙に永年功労者として国際会長感謝状が贈られた。

続いて「高校生部活動支援コンサート」が行われた。まずは、東京都立美原高等学校 和太鼓部の学生が迫力のある和太鼓演奏を披露した。さらに、全国大会準決勝に進出した実績を持つ東京都立雪谷高等学校チアリーダー部による元気溢れる演技が行われた。途中、姉妹クラブである秋田大森ライオンズクラブと合同アクティビティである農業体験の感想文が紹介されたのち、学校法人上野塾、東京実業高等学校、マーチング部の演奏が行われた。演奏の合間に姉妹クラブであるニューヨークジャパニーズLCから仙台のLCに対して東日本大震災の義捐金贈呈が行われた。最後は東京都雪谷高等学校吹奏楽部による壮大な演奏で会場は大きな拍手に包まれた。



東京さぎそうライオンズクラブ(旧東京砧LC)のアクティビティを取材

東京さぎそうライオンズクラブはこのたび正式に国際本部の許可を得て(2011年6月8日)東京砧ライオンズクラブからクラブの名称を変更した。過去10年以上にわたり東京都立久我山青光学園(せいこうがくえん)のPTA知的障害教育部と共に「親子ふれあい祭り」を主催している。今年も10月30日(日)世田谷区北鳥山の同校運動場とホールにて開催され、ホール内では先生方によるラーメン体操や二人組の大道芸人Mir Chiko!(ミルチーコ)のジャグリングなどのアトラクションが披露されたほか、お祭りの雰囲気を楽しんでもらおうという企画から、メンバーによる焼きそばやおでん、餅つき、ポップコーンを提供した。「親子ふれあい祭り」では孤立しがちな特別支援学校と地域の交流を図るため、在校生、父兄のほか地域住民も自由に参加でき、毎年地元の鳥山中学校の生徒らもボランティアでライオンズクラブの手伝いをしている。



クラブメンバー

安藤 満生 杉田伊紗武
浅井喜八郎 鈴木 威
平井 守 棚橋 弘
小沼 泰浩 戸谷 賢治
前田 義雄 戸谷カツヨ
丸 洋栄 (家族会員)
小澤 雅也 冨田 稔
島田 益吉 中村 参子
島田 光子 綿拔 誠
(家族会員)

(以上15名、家族会員2名 11月11日現在)

東京池袋ライオンズクラブの50周年記念例会を訪問

東京池袋ライオンズクラブ(8R1Z)は10月26日(水)ホテル第一イン池袋内のレストランでリジョンチェアパーソンほか地区の役員と親クラブの新宿ライオンズクラブ会長を招いて50周年の記念例会を開催した。メンバーは12人と少人数だが、今年白寿(99歳)を迎えた「おひげさん」の愛称で知られクラブのシンボリックな存在である鈴木浩氏が所属する名門クラブである。また、もう一人クラブの名物ともいえる唯一のマドンナメンバーで「ゾーンチェアばあさん」とも呼ばれて親しまれている秋元政江Lも元気な声で会場を明るくする雰囲気にさせて健在だ。今回の記念例会も時節柄「簡素で意義のある記念例会になるよう企画した」(酒井三雄L)とのことで結成50周年記念実行委員長の旗本宏昌L、結成50周年記念例会委員長の吉田茂Lらも喜びをかみしめていた。

クラブメンバー

L旗本 宏昌
L吉田 茂
L酒井 三雄
L秋元 政江
L植竹 孝史
L小林 信介
L鈴木 浩
L滝澤登志夫
L西山 実
L矢島 千秋
L吉井 公明
L若林 博史
(以上12人 11月11日現在)



PR・情報委員会特別企画



梶原正和 (PR・情報委員長)

「今日は地区ニュースの掲載企画に参加いただきありがとうございます。ご存じのとおりライオンズクラブは各地で高齢化と会員減少が起きており、組織の活性化と会員増加のカギを握る地区内の女性会長に集まっていただきました。地区のメンバーに対するご意見やメッセージを大いに語っていただきたく思います。」

林田喜久子 (東京GAIA LC)

「ライオンズクラブはやはり男性が中心になっているので、女性会長としては他の女性会長の意見を聞くことができるこのような機会は大変貴重です。会員増強という問題は大変難しく、とても頭を悩ませています。何しろ3人辞めたら3人補充するというようなことはとても大変で、3人辞めたら一人入会してもらえればいいほうです。したがって、どうしても減少してしまうのが現状です。」



伊藤侑希子 (東京関東LC)

「女性がライオンズクラブに入れなくて、米国では“差別だ”という訴訟が起きた時代から比べると、ずいぶんと変化したという印象です。関東クラブは日本在住の欧米人や英語の堪能な日本人が立ち上げたクラブですが、昭和5年(1976)には日本で初めての女性クラブ“関東ライオネスクラブ”をスポンサーしたクラブでもあります。わたくしもそのクラブに入会した一人です。関東クラブも今では外国人メンバーもいなくなり、高齢化とともに会員数が減少しています。何とかしなければなりません。」



林照子 (東京尾張町LC)

「尾張町ライオンズクラブは結成して40年になりますが、女性会長は私が初めてだそうです。今までメンバーの皆さんが控えめな方が多かったかもしれませんが、素晴らしいアクティビティを続けているのにもかわらず、今まで“地区ニュース”や“ライオン誌”に取り上げられたことはなかったと聞きます。私は積極的にクラブの活動を知ってもらうためにPR情報委員会に頼んで活動を掲載していただきました。」



西川千恵子 (東京荒川西LC)

「わたくしの所属するクラブは、女性だけではなく、現在の私の立場としては男性、女性にかかわらず、クラブの運営とアクティビティをしっかりとやっていきたい。しかしこのように他のクラブの女性会長の意見を聞く機会とはとても興味があり楽しみにしていました。」

地区内クラブ女性



窪村幸子 (東京ウィルLC)

「うちのクラブはすずしろさんと一緒に女性だけのクラブです。今日は地区内に女性のみのクラブがどれほどあるのか興味を持ってきました。また、他のクラブの運営や活動状況を知ることができる貴重な機会だと期待してきました。会員の増強は私どもも同様に苦労しています。娘や姪御など将来のメンバーを期待して家族会員を積極的に誘っています。」



高橋美恵子 (東京すずしろLC)

「私は現在クラブの幹事を務めており、今日は所要で来られない会長の代理で出席しました。現在クラブは13名の女性メンバーですが、女性なので家族会員を増やすこともままならないので、会長と共に新たなメンバーを誘って会員増強に努めています。」

難しい会員増強

伊藤侑希子 (東京関東LC)

「メンバーの半分以上が80歳代、平均76歳ですから…、続けていけるかどうか心配です。年会費3万円の賛助会員を設けました。」

西川千恵子 (東京荒川西LC)

「会員は32名ですが、女性は4名です。会長のなり手がなくて私に回ってきたのです。でも、大震災の風評被害で困っている福島を産直販売などで支援しています。」

会長意見交換会



“吠える女性会長”

やってもらうのです。うちでは3年目には会計です。

田中圭子(東京麻布LC)

うちでは3年目に幹事よ。古い人がサポートして、やってもらうことが重要です。

女性パワーを発揮しよう

窪村幸子(東京ウィルLC)

被災地の女性やお年寄りを見ていると、「みんなが集まる、話す、手を動かす。体を共に動かす。生産する。他人の役に立つ」ということがケアーの大きな課題のようです。東京について何ができるか、考えたいですね。



林照子(東京尾張町LC)

「10年間、女性会員は私一人でした。会長をやれということだったので調べてみたら、32人の会員の出席するのは半分足らず、しかも会費も納めていない。腹も立ちますよ。そこで会長を引き受けるに際して電話攻勢をかけました。そしたら最初の例会にはほとんどが

出席してくれたのです。うれしくなりましたが、男の人はじっとしているだけなんですよ。」

林田喜久子(東京GAIA LC)

今、女性で、会長だからこそできることも多々あると思います。

窪村幸子(東京ウィルLC)

会長としてやりたいことがあったら、腹を割って話す。これは女性のみの会では重要です。

田中圭子(東京麻布LC)

ウィルはこの10年良くまとめてきたと思いますよ。

いかに、辞めさせないか!

林田喜久子(東京GAIA LC)

会員増強よりも、いかに辞めさせないかです。クラブの仕事を何かやってもらうことが、必要だと思います。

窪村幸子(東京ウィルLC)

そう、入会してすぐにでも何か役についてもらう、「できるかな」ではなくて

田中圭子(東京麻布LC)

「地区内の女性メンバーの多くと顔見知りですが、なかなか本音の議論をする機会がありません。このような機会を利用して普段考えていることや、やりたいと考えていることなどを徹底して話し合い、女性のできる活動をやりませんか! 人の痛みや苦しみを一緒に感じることができる女性ならではの感性で、たとえば大震災の被災者らに手を差し出しましょう。私以外にも被災地の“NHKのど自慢”に出た被災者らに感動した人は多いと思いますがそうした被災者に、“私たちができる、私たちだからこそできる”活動をこのような機会をきっかけに一緒にやりませんか」



伊藤佑希子(東京関東LC)

「それは素晴らしい考えです。地区の活性化にもつながる活動にもなります。女性メンバーの増員にもつながるかもしれません」

窪村幸子(東京ウィルLC)

「私もNHKの番組を見て感動した一人です。一人の女性として被災地や被災者にもっとできることがあるのではと思います」



街で見かける ライオンズ活動の足跡

地区内各地で見かけるライオンズクラブの名前が掲げられたモニュメントや標識などを取材しました。まだまだ地区内にはたくさんの思い出が残っていると思われます。場所やクラブ名、由来や建立の日などを写真を添えてお知らせください。(PR・情報委員会)



▲この「モニュメント」は、人間と自然を地域社会と人々というテーマを“絆”という形で表現した作品である。
1990年5月 作:三沢憲司 寄贈:東京新宿ライオンズクラブ、東京新都心ライオンズクラブ、新宿区西新宿 中央公園内



▲銀座中央通りにある「ライオン像」募金箱になっている
寄贈:東京新橋ライオンズクラブ



▼「のぞみ」像 東京都北区赤羽会館内
寄贈:東京赤羽ライオンズクラブ 結成二十周年記念



◀JR新宿駅東口「モニュメント」
西条八十を偲んで
東京新宿ライオンズクラブ



▼JR新宿駅東口前 ご存じ、「新宿東口にあるライオン像」お金を投入して募金するとライオンが吠えてお礼をする。今日では新宿の名物となっている。東京新宿ライオンズクラブ



▲JR金町駅前広場
東京江北ライオンズクラブ

▶千代田区靖国神社内「ごみ箱」
寄贈:東京九段ライオンズクラブ



▼台東区JR御徒町駅「交通安全標識」
東京不忍ライオンズクラブ



▲「国旗を愛しましょう」
寄贈:東京江東ライオンズクラブ



▲立川市役所「掲示板」「カウンター」
東京立川ライオンズクラブ



▼東京都立小金井公園内
東京小金井ライオンズクラブ



▶JR亀有駅前広場
東京亀有ライオンズクラブ



▼練馬区目白通り関越自動車道降り口
「交通安全標識」東京石泉ライオンズクラブ
30周年記念事業



▼練馬区光が丘駅前「交通安全標識」
東京光が丘ライオンズクラブ
20周年記念事業



▼練馬区目白通り関越自動車道入口
「交通安全標識」東京練馬西ライオンズクラブ
20周年記念事業



▲練馬区石神井公園内「時計台」
東京練馬西ライオンズクラブ 15周年記念事業



▲(左)足立区綾瀬警察署前「交通安全標識」 (中)「交通安全標識」 (右)足立区環七通り「交通安全標識」
東京綾瀬ライオンズクラブ

▼外堀通り市谷町付近「ライオンズざくら」
東京飯田橋ライオンズクラブ



▲JR新小岩駅北口東北広場
東京葛飾ライオンズクラブ



▲葛飾区新宿交通公園内
東京葛飾東ライオンズクラブ



2011-2012 主要行事日程表

キャビネット会議

- 臨時 2012年1月23日(月) 東京プリンスホテル ・会議・賀詞交歓会 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員
- 第3回 2012年3月21日(水) 東京プリンスホテル ・会議 ※キャビネット構成員
- 第4回 2012年6月11日(月) 東京プリンスホテル ・会議・懇親会 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員

OSEALフォーラム

- 第5回 東洋・東南アジア・ライオンズフォーラム (OSEAL)
2011年11月24日～27日(ホスト地区 MD301)
フィリピン・マニラ(バサイ市)

OSEAL オフィシャルサイト
<http://oseal2011.com>



国際大会

- 第95回国際大会 2011年6月22日～26日 韓国・釜山市

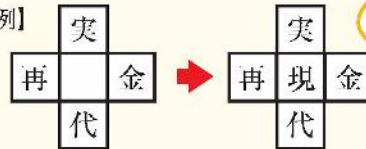
年次大会

- 330-A地区(第58回) 2012年4月21日(土) 東京プリンスホテル
- 330複合地区(第57回) 2012年5月13日(日) 浦和ロイヤルパインズホテル

懸賞コーナー クロスキイズとアンケートに答えてワインがもらえる

十字の中央のA、B、C、Dには、周りの漢字それぞれと二字熟語ができる漢字一文字が入ります。最後に、中央に入る4つの漢字(A、B、C、D)で出来る4文字の熟語を答えて下さい。(熟語は上から下、左から右とします。)

【例】



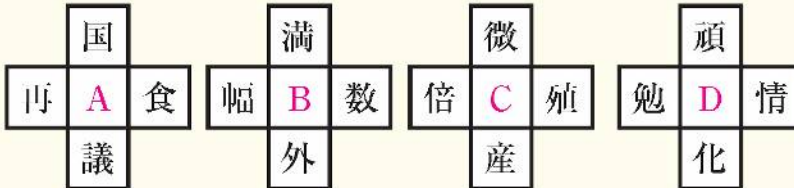
この賞品が
あたる!



【答え】



(ヒント)本誌の記事中(P.10～P.11)に出ています。



応募方法

正解者の中から抽選で10名の方にワインを差し上げます。抽選の発表は次号です。

【締め切り】12月25日(当日消印有効、メール、FAXは送信日付当日まで)

【応募資格】地区内メンバーでサバンナeMMR登録者一人一通に限りです。

【あて先】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-10-17

新宿ダイカンプラザB館2F 地区ニュース懸賞係

【メール】pr@playtown.net 【FAX】03-5330-3370

◆メールまたはFAXに解答および地区ニュースに対しての読者アンケートにお答えください。郵便番号・住所・氏名・電話番号・RZ・所属クラブ・年齢も忘れなくお願いします。

*ワインはオーストラリア産赤スパークリングワインを地区内メンバーからのドネーションによりPR情報委員会でご用意しました。

ドネーション者氏名：L塩月 藤太郎(献眼・献腎委員会委員長) L小川 晶子(東京ウィルLC、家族会員・女性参加推進委員会 委員長)

アンケート

◆クイズといっしょにアンケートにも
ご協力ください

■今号の地区ニュースWinter号はいかがでしたか?

- Q1. 面白かった記事は? その理由は?
- Q2. つまらなかった記事は? その理由は?
- Q3. 今後載せて欲しい記事は? その理由は?
- Q4. その他ご意見などお書きください。

つぶやき

◆話題のスカイツリー、今期の地区ニュースは熱い!

今一番の話題のスポットといえば東京スカイツリーですね、今号はそれを表紙に飾りました。そのスカイツリーにライオンの着ぐるみを着て登っているのは今期のガバナーですよ。スカイツリーのテッパンにまで標語を付けるし、[We Serve]我々は奉仕するぞと言ってるその姿は、まさに胸に燃ゆる火デモクラシーそのもの。実はもう一つ熱いのが、背景のスカイツリーの写真。PR情報委員が戦場カメラマンよろしく高所の恐怖と闘いながら体を張って撮った写真の中の一枚がそれです。予算がないので自腹を切って撮影してきたのですが、今期の地区ニュースは熱い!

【第1号の答え】大石誠

Cの欄の「熱」の文字が「熱」ではないかと数名の方からのご指摘がありましたが、当方の意図は「熱」のつもりで問題を作りました(渋沢栄一の言葉です)。

【第1号の当選者】: 渡辺浩行(福生LC)、小林勉(豊新LC)、新沢操(渋谷LC)、千々波眞照(番町LC)岡崎孝(石泉LC)、菅真一(葵LC)、山田文一(葵LC)、柳井健一(ウエストLC)、吉崎光男(葵LC)、佐久間俊男(新宿LC)、宇壁正純(巣鴨LC)以上、おめでとうございます。景品は発送しました。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第2号(Winter号)

The
Lions
News

発行日 2011年11月20日

発行 PR・情報委員会

PR・情報委員会

委員長 梶原 正和(小金井)
編集長 宇壁 正純(巣鴨)

編集委員 高尾 省吾(葵)
奥山 貞夫(葛飾)
和崎 健治(練馬)
矢追 秀紀(ウエスト)
柴田 誠(新都心)

編集委員 新田 尚志(麻布)
後藤 裕文(法政)
小森 康一(綾瀬)
山口 聖之(中央南)
桂 太郎(世田谷)
鈴木 郁朗(新宿)
佐藤 武雄(新都心)
戸矢崎 哲(中野)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL (03) 5330-3330
FAX (03) 5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org